

令和6年度 事業報告

1、法人 本部

(1) 概要

①利用者及び家族へのサービス提供の充実

- ・新型コロナウイルス感染対策については、昨年5月に厚労省から、「個人や事業所が自主的に判断するように」と通知があつてから、約1年がたち当法人でも外出を伴う行事（ケアハウス）や夏祭り、各種レクリエーションなど、徐々に以前のような企画を実施することが出来ている。ただし、世間の感染状況を確認しながら規模の縮小や行き先の選定など、配慮している。
- ・入館者（家族等）については、体調良好で来所時体温測定で発熱が無い方はマスク着用のうえ入室可能としている。ご家族の訪問回数や滞在時間の延長がみられ、入居者の様子や生活をみていただく機会が増えた。また、訪問時に職員との交流が増え、都度お話を伺うことで関係を深めることができたと思われる。
- ・ケアハウス入居者の疾患や怪我などでの状態変化や体調不良時の対応、在宅の利用者の家庭での状態や状況の変化に伴う介護保険サービス時などの変更や各部署との報告・連絡・相談などを頻繁に行った。安全に安心して過ごせるよう各部署と連携を強化し生活を維持できるように努めている。

②地域福祉の推進

- ・新型コロナウイルス感染症まん延以降、従来から行っていた地域のボランティア活動、幼稚園児・小学生の慰問訪問や中学生の職業体験等が引き続き中止になっていたが下記の通り訪問実績があつた・
 - 令和6年9月9日 西幼稚園 園児70名が来訪し、お遊戯、歌、手遊びなどで交流を図つた。
 - 貝塚市社会福祉協議会を通して、11月11日（ケアハウス）、11月12日（デイサービス）にアコーディオンの演奏のボランティアの方が来訪。
 - 上記同様、アコーディオンの演奏ボランティアの方に、12月6日のケアハウスクリスマス会で演奏していただいた。
- ・地域の高校生2名が夏休みを利用し、ボランティア活動として（全4日間）デイサービスセンター敏庵で利用者との交流等を行った。
- ・包括支援センターに大学の看護学部より、来年度の公衆衛生の実習の依頼あり。令和7年度に実習の受け入れを行う予定。
- ・地域の集いや行事等への直接的な関わりは少ないが、近木川クリーンキャンペーン等への参加及びお土産の提供などを行った。また、地域の運動会（11月）で血圧測定や血管年齢測定の依頼があり包括支援センターが参加した
- ・今後も地域の活動の情報を入手し参加等の協力を行う。

③人材確保と育成

- ・新型コロナウイルス感染症のまん延前に比べて、外部研修や各職種の集会などの募集は少ないが、貝塚市通所介護部会や給食講演会など会場参集の活動が再開されつつあり、参加できるように職員に案内をしている。
- ・社内研修については、計画通り研修を行うことができおり参加できなかった職員については、各部署での会議やミーティングで伝達している。

- ・人材確保のため、職員の募集を引き続き行っており週 1～2 日の看護職員や常勤の介護職員、柔道整復師の入社があり、介護職員・柔道整復師は継続している。
- ・デイサービスセンター敏庵の職員が産休及び育休の取得中である。産休及び育休を取りやすい雰囲気であることや人員を補うことや機器の導入など産休・育休取得中であっても利用者への影響や業務への影響がないように配慮した。
- ・職員のスキルアップの資格取得や研修に対して、勤務シフトの配慮など行い支援を行った。今年度は、介護福祉士の合格者 1 名、実務者研修の終了者 1 名であった。
- ・福利厚生の一環として、阪神タイガース年間シートを契約し希望の職員の観戦を行った。観戦者は一部の職員に限定されることなく、様々な職員が希望されれば空き日をつくることなく活用できた。来年度についても、継続してシート契約を行う予定。

④施設整備について

- ・デイサービスセンター敏庵について、①ウォーターベッドをもっと使用したいという、利用者からの希望の声が多い、②マッサージや手技での機能訓練など多くなっているなか、柔道整復師 1 名が産休・育休を取得し、対応する柔道整復師の負担が大きくなりサービスの低下が予想され、サービスの低下の防止を検討。前記①②より、ウォーターベッド（管理医療機器）の追加購入を行った。管理医療機器で、従来のものより柔軟性改善のための手技を再現したもの（メディカルモード付）で、利用者からの評判も高い。
- ・ケアハウスのリフト対応型軽自動車の、クーラーのベアリングに故障あり。平成 24 年式で、修理に高額な費用が掛かることもあり、利用者を安全に快適に送迎するため、買い替えを行い R7 年 1 月 30 日に納車された。
- ・デイサービスセンター（第 2・3 デイサービス）の入浴設備の給湯器（LP ガス用）2 台で給湯しているが 1 台が故障で稼働していない状態。平成 24 年 3 月に設置したもので、修理部品がなく修理不可のため新しい給湯器に入れ替えを行った。
- ・建物、機器、備品（椅子や机）などを日々点検し老朽化や不具合により入居者・利用者に不便や危険が及ばないように、修理や入れ替えを実施している。

⑤防災への取り組みについて

- ・随時、備蓄品の点検や補充の見直しを行っており、賞味期限切れが近い避難食は避難訓練時に入居者や職員で実際に食べてもらった。
- ・避難用備品に、担架やおんぶ紐などを追加しケアハウス非常階段に設置した。
- ・気象庁より、令和 6 年 8 月 8 日に、南海トラフ地震臨時情報が発表され同月 15 日に解除されるまでの間は、特に気象庁からの情報や備品の確認など注意をはらった。
- ・令和 6 年 8 月 31 日の台風 10 号は、日中の時間帯に近畿地方にも豪雨をもたらす可能性が高く、利用者の安全を考慮し、前日にデイサービスの休業を決定した。台風の進路は予測を大きく外れる進路をとり豪雨や強風の被害はなかった。

⑥感染症の予防及びまん延の防止について

- ・日々の感染症予防及びまん延防止のための対策を継続している。
- ・感染症予防及びまん延防止のための備品の点検や補充を定期的に変更している。
- ・前年度末で新型コロナウイルス高齢者施設等従業者抗原検査（大阪府）の検査キットの配布が終了となったが、その後も出勤時の体温チェック、体調確認を継続している。
- ・インフルエンザワクチン接種の実施について、R6.10 月～入居者、11 月～12 月に職員の接種。（入居者の無料接種券申請（非課税の方対象））

- ・新型コロナウイルスワクチン接種の実施について、R6.9月下旬より入居者全員に接種の意思確認を行い、全員が接種を希望（ご自身で意思表示が困難な方はご家族に確認）

11月28日に高松内科 高松医師に来訪いただき集団で接種。（接種希望の方の無料接種券申請（非課税の方対象））

○インフルエンザ感染者：入居者・利用者 なし 職員 2名

○新型コロナウイルス感染症状況

期 間：R6.7月下旬～8月初旬にかけて

感染状況：デイサービスセンター 利用者数名 職員数名に陽性の報告あり
ケアハウス 入居者 9名 職員 1名に陽性の報告あり

感染発生後の対応

- ・デイサービス

カラオケや歌の時間を休止。利用者及びご家族の体調確認を徹底した

- ・ケアハウス

罹患されたケアハウス入居者について

- ・抗原検査で陽性が確定後に、病院受診し内服薬の処方を受けた
- ・自室隔離中は、職員は、ガウン・マスク・フェイスシールド・手袋等を着用し感染予防の上入室。使い捨てのお弁当配膳し、毎食時に体調確認及び体温・血中酸素飽和度測定を実施。
- ・入居者2名は、発症2日後に血中酸素飽和濃度が82～87%に減少し、救急病院受診。一時的なもので帰宅。その後症状なく安定される。
- ・上記2名以外の方は、症状の悪化なく安定して過ごされる。
- ・罹患中3名は介護保険を利用し感染対策を徹底した上で、食事介助や排泄介助を継続したが、職員への感染なし。職員を介しての感染拡大なし。
- ・その他の対策

8月6日～8月10日。自室待機者が複数名となり、感染拡大予防から食堂での集団の食事を中止し全入居者に配膳し自室での食事とした。その後新たな発症者がなくなり8月10日～食堂での食事を再開する。

○ノロウイルス感染症状況

期 間：R7.2月28日～3月6日（7日間）

感染状況：デイサービスセンター 利用者 2名 職員 5名
ケアハウス 入居者 12名 職員 6名

感染発生後の対応

- ・下痢・嘔吐の症状の出現した者が複数名になり、岸和田保健所に報告。
（以降、終息となるまで毎日報告を行う）
- ・岸和田保健所による検便でノロウイルスによる感染性胃腸炎と判明。
- ・下痢・嘔吐があった場合の処理について、次亜塩素酸を使用し対応を継続
（マスク・手袋・場合によりガウン・シューズカバー着用）
- ・入居者及び利用者、職員が触れる部分は、次亜塩素酸で清掃
- ・食器類は使い捨てを使用。若しくは次亜塩素酸で消毒、あるいは85℃以上の湯で1分以上洗浄。

- ・症状が出現した方については、症状が消失した後も1ヶ月程度は入浴時や排泄時などその方が触れる部分に注意を払い次亜塩素酸での清掃を継続する。
 - ・罹患した職員は、検便で陰性になるまで食品を扱わない。
 - ・罹患した入居者・利用者・職員は、症状の悪化なく重症にならず軽快された。
- 3月4日に調理員1名、その後も調理員及び調理補助の職員が発症したため、厨房での調理を中止し、3月5日～お弁当で対応。感染拡大予防から入居者は自室待機とし、食事も自室で召し上がっていただいた。その後、厨房職員は1週間毎に検便を行いノロウイルスの陰性を確認し、3月31日～厨房での調理を再開。お弁当での対応中も罹患せず検便で陰性が確認できた職員が刻み食等の対応した)
- (岸和田保健所より、厨房職員からの発症ではないため厨房の停止はなし。厨房職員は陰性であれば調理や職員に携わっての問題なし、と意見を頂く)
- デイサービスについて、感染拡大予防から3月5日～臨時休業。3月11日～営業再開
厨房での調理が再開されるまで、お弁当で対応。

⑦その他

- ・安全運転管理者は、R6.9月27日に安全運転管理者講習を受講した。
業務で車両を運転する職員を対象に、就業前にアルコール検知器での酒気帯の確認及び疲労・睡眠不足の状態の有無のチェックを継続している。
- ・軽費老人ホームケアハウスの処遇加算について
「軽費老人ホームが入居者から支払いを受ける利用料の額について（通知）」（大阪府 令和6年6月21日）あり大阪府軽費老人ホームの設置及び運営に関する基準を定める条例の規定に基づき、軽費老人ホームが入居者からの支払いを受ける利用料（管理費）の額を改定し、令和6年4月1日より適用する旨の通知あり。
上記条例内に、「軽費老人ホームケアハウス処遇改善加算」が新設され、処遇改善加算を取得するため、申請を行った。（令和6年4月分より、申請）
○処遇改善加算については、大阪府の計算式に則り算定し、ケアハウス所属の職員に支給。
（前年度のサービス提供に要する費用（入居者の人数）により変動あり）
○入居者の負担については、事務費の階層 16階層以上の方に一部負担あり。その他の階層の方は大阪府からの補助あり。
- ・社会福祉法人における指導監査実施
令和6年7月16日（水） 貝塚市健康福祉部 広域事業者指導課より指導監査あり。
指導監査の結果、指導内容として①資金等の管理運営体制について 法人の定めた経理規程に則り、理事長と会計責任者等の兼務を避けること ②計算書類の注記について 法人全体の注記には、「合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け」の事項を記載すること。
以上2点があった。①経理規程の変更を行った ②令和6年度決算報告において上記事項を記載し、改善を行った。

(2) 研修その他

①理事会・評議員会等開催状況

		主な内容
R6.5.15 9:00～12:00	監事監査	

R6.6.3 13:30~14:15	第93回理事会	1.令和5年度補正予算(案) 2.令和5年度事業報告及び計算書類等、監事監査報告 3.令和5年度社会福祉充実残額及び社会福祉充実計画について 4.定時評議員会の招集と提出議案について
R6.6.24 13:30~14:15	定時評議員会 (第73回評議員会)	1.令和5年度補正予算(案) 2.令和5年度計算書類等 (事業報告、監事監査報告) 3.令和5年度社会福祉充実残額及び社会福祉充実計画について
R6.10.28 13:30~14:15	第94回理事会	1.経理規程の変更について 2.就業規則の追加について 報告事項 1.理事長及び常務理事の職務執行状況について
R7.3.4 13:30~14:30	第95回理事会	1.令和7年度事業計画(案)・予算(案) 2.役員等賠償責任保険契約の内容について 3.役員・評議員報酬等規程の変更について 4.デイサービスセンターの温水器交換について 5.評議員会の招集と提案議案について 報告事項 1.理事長及び常務理事の職務執行状況について
R7.3.28 13:30~14:15	第74回評議員会	1.令和7年度事業計画(案)・予算(案) 2.役員・評議員報酬等規程の変更について 報告事項 1.デイサービスセンターの温水器交換について

*開催場所：社会福祉法人延寿会 ふれあい二色の浜 食堂

②職員研修

<外部研修>

	研修名	実施団体	参加所属
7.31	精神症状を持つ高齢者の支援と治療	岸和田保健所管内 関係機関職員研修	ケアプランセンター
9.10	令和6年度泉州地域給食研究会合同 講演会 「管理栄養士・栄養士を取り巻く環境 の変化=いま取り組むべき課題=」	岸和田保健所	ケアハウス(厨房) (栄養士)
9.15	令和6年度長寿社会開発センター研究 セミナー「ライフステージに応じた意 思決定支援～意思の尊重・尊厳の確保」 (WEB視聴)	一般社団法人 長寿社会開発センタ ー 調査研究開発部	包括支援センター
9.17	「せん妄」～評価と予防・治療ケア～	令和6年度緩和ケア	ケアプランセンター

	(ZOOM)	チーム学習会	
9.25	「褥瘡予防用具の選び方・使い方」	大阪府介護情報・研修センター	ケアプランセンター
10.25	難病支援について考えよう ～ケアマネジャーの役割とは～	大阪難病医療情報センター	ケアプランセンター
10.16	「今こそ備えよう！個別避難計画、行政の災害対策について」	貝塚市介護保険事業者連絡会居宅介護支援部会	ケアプランセンター (包括支援センター 参画)
10.29	令和6年度第2回地域包括ケアシステム充実強化研修 (WEB 視聴)	大阪府福祉部高齢介護室介護支援課地域支援グループ	包括支援センター
10.31	感染症の拡大予防について	貝塚市通所介護部会	デイサービス
11.10	「みんなで支える在宅・介護現場の痛みのケア」	慢性疼痛診療システム均てん化等事業 —近畿地区—	ケアプランセンター
11.16	みんなで考える市民講座「おうちに帰りたい」はかなうのかな？	りんくう総合医療センター・一般社団法人らふ	ケアプランセンター
12.5	「在宅のケアマネジメントで行う家族支援の基本」～事例を支援者の思考プロセスを通じて考えよう～ (YouTube)	長寿社会開発センター研究セミナー	包括支援センター
12.7	意思決定支援における支援者の役割 ～各種ガイドラインを踏まえて～	貝塚市障害者自立支援協議会	ケアプランセンター (包括支援センター 参画)
12.6、13	機能的口腔ケア講習(新しい生活様式に対応した口腔保健指導推進事業)	貝塚市歯科医師会	デイサービス
R7 1.7	第5回大阪府高次脳機能障害リハビリ研修会「高次脳機能障害の基礎知識と最近の動向」当事者・家族・支援者の体験談 (WEB 研修)	大阪府高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会	包括支援センター
1.28	令和6年度第2回地域包括ケアシステム充実強化研修 (WEB 視聴)	大阪府福祉部高齢介護室介護支援課地域支援グループ	包括支援センター
2.1	非常災害時の対応 ～防災・消防の視点から～	貝塚市在宅医療・介護連携推進懇談会	ケアプランセンター (包括支援センター 参画)
2.4	令和6年度認知症初期集中支援チーム員フォローアップ研修	大阪府福祉部高齢介護支援課 認知症・医介連携グループ	包括支援センター
2.10	複合・複雑化した課題のある世帯にど	大阪介護支援専門員	ケアプランセンター

	う関わるか ～あなたを一人にしない支援体制～	貝塚支部	
2.10	ヤングケアラーの支援を考える ～ケアをしたからこそお伝えしたいこと～	貝塚市こども相談センター・貝塚市地域包括支援センター	ケアプランセンター (包括支援センター 参画)
2.20	事例検討会	貝塚市内ケアプランセンター	ケアプランセンター
3.19	令和6年度貝塚市介護保険事業者連絡会総会	貝塚市健康福祉部 高齢介護課	ケアプランセンター
3.25	令和6年度特定給食講演会(YouTube)	大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課 総務・歯科・栄養グループ (栄養士会)	ケアハウス (栄養士)
3.29	認知症疾患医療センター研修会 抗アミロイドβ抗体療法での認知症診察の変化 (ZOOM リモート開催)	水間病院 認知症研修会	包括支援センター ケアプランセンター

	研修名	参加所属
6月	認知症介護基礎研修	デイサービスセンター 1名
9.27	安全運転管理者講習会	安全運転管理者
12月	認知症介護基礎研修	デイサービスセンター 2名
10月～3月 (全7回)	居宅介護支援専門員更新研修	ケアプランセンター 2名

	研修名	管轄	参加所属
7月	軽費老人ホーム「令和6年度指導・研修会」⇒HP上の資料をダウンロード、YouTube視聴。報告書の提出を行った。	大阪府	ケアハウス
8月	令和6年度 指定居宅サービス事業者等集団指導 ⇒HP上の資料をダウンロードし、確認。 報告書の提出を行った。	広域事業者指導課	各介護サービス事業所

<社内研修> *参加者は各部署で他の職員に伝達する。

	内容	テーマ
4.26	食中毒事例検討及び発生予防まん延の防止に関する研修(業務継続計画に沿って、研修・訓練)	感染症・食中毒の基礎知識を学ぶ 標準予防策と正しいガウンテクニック、吐物の処理方法
5.24	接遇に関する研修	初心とプロ意識を忘れない「接遇」の心得
6.28	身体拘束等排除のための取り組みに関する研修	不適切な身体拘束を防止するため

		には・・
	虐待防止研修	高齢者虐待防止の基本・不適切ケアの具体的な事例
7.22	非常災害時の対応に関する研修 非常災害時の避難・救出に関する研修 (業務継続計画に沿って、研修及び訓練)	エレベーターが使えない場合の 垂直避難方法について
8.27	事故発生予防及びまたはその再発に関する研修 事故の発生等緊急時の対応に関する研修	事故発生時の初期対応について
9.27	倫理・法令遵守研修	倫理・法令遵守とは？ 指定居宅サービス事業所等集団指導 について
10.25	感染症発生事例検討、感染症の発生の予防まん 延の防止に関する研修 (業務継続計画に沿って、研修・訓練)	ケアの場面に応じた ① 個人防護具の選択・適切な使用 ② 手指衛生 ケース場면을想定した机上訓練
11.20	身体拘束等排除のための取り組みに関する研修	身体拘束がもたらす弊害とは？ 甘い認識がつい拘束を！
	虐待防止研修	「その人らしさ」を大切にされたケアを 目指して
12.20	認知症及び認知症ケアに関する研修	認知症の人の介護ケア
R7 1.20	非常災害時の対応に関する研修 非常災害時の避難・救出に関する研修 (業務継続に沿って、研修及び訓練)	業務継続計画 (BCP) を確認し、災害 発生時の再確認をする。 災害発生時を想定し机上訓練
2.20	事故発生予防又は再発防止に関する研修	ハインリッヒの法則
3.21	プライバシーや個人情報の保護に関する研修	プライバシー・個人情報とは？ プライバシーと個人情報保護のため には？

③職員関係の会議・各委員会

身体拘束等廃止委員会	3 ヶ月に一回 委員会開催	社内研修 (年 2 回) R6.6.28、11.20
高齢者虐待防止委員会	3 ヶ月に一回 委員会開催	社内研修 (年 2 回) R6.6.28、11.20
感染症対策委員会	3 ヶ月に一回 委員会開催	社内研修 (年 2 回) R6.4.26、10.25
事故発生防止委員会 (リスクマネジメント委員会)	毎月	社内研修 (年 2 回) R6.8.27、R7.2.20

職員関係	職員会議 (月 1 回)	給食会議 (月 1 回)
------	--------------	--------------

④ 職員の健康診断

	回数	医療機関	健診日
--	----	------	-----

常勤・非常勤全員の健康診断	年1回	りんくうタウンクリニック 徳州会病院 高松内科	R6.5～R6.11
宿直者（ケアハウス）の健康診断 (9名)	年2回	(1回目) 上記に含む (2回目) 高松内科	R6.12～R7.3

⑤ 職員採用・退職状況 (R6.4～R7.3)

(単位：名)

部署	職種	退社		入社		
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	
ケアハウス		0	0	0	0	
デイサービスセンター	介護職員	3	2	4	3	
	看護師	0	5	0	3	
デイサービスセンター敏庵	介護職員	柔道整復師	1	0	1	0
		その他	0	1	0	1
	看護師	0	0	0	1	
ヘルパーステーション		0	0	0	0	
ケアプランセンター		0	0	1	0	
包括支援センター		0	0	0	0	
小規模多機能型居宅介護		0	0	0	0	
合 計		4	8	6	8	
		12		14		

○R7.3 月末職員数 (施設長・事務長除く)

(単位：名)

部署	職種	基準職員数	常勤	非常勤	合計	総合計
ケアハウス	生活相談員	1名	1	0	1	9
	事務員	1名	1	0	1	
	介護職員	2名	2	0	2	
	栄養士	1名	2	0	2	
	調理員	—	1	0	1	
	調理補助	—	0	1	1	
	清掃員	—	0	1	1	
デイサービス	生活相談員	3名	5	0	5	23

	介護職員	利用者3名に対して常勤換算1名+通所型サービスAの職員1名	3	10	13		
	看護職員	常勤換算2名	0	3	3		
	調理補助		0	2	2		
敏庵	生活相談員	1名	2	0	2	7	
	介護職員	柔道整復師	利用者3名に対して常勤換算1名+通所型サービスAの職員1名	2	0		2
		初任者研修 その他		0	2		2
	介護職員		0	1	1		
ヘルパーステーション	サービス提供責任者	常勤換算2.5人以上	2	0	2	5	
	訪問介護員		0	3	3		
ケアプランセンター	主任ケアマネジャー	1人	2	0	2	5	
	ケアマネジャー	—	3	0	3		
包括支援センター	看護師	1名	1	0	1	4	
	主任ケアマネジャー	1名	2	0	2		
	社会福祉士	1名	1	0	1		
小規模多機能型	計画作成担当者	1名	1	0	1	5	
	介護職員	通いサービス利用者3名に対して職員1名+訪問サービスの職員	3	0	3		
	看護職員	1名	0	1	1		
		合計	34	24		58	

2 ふれあい二色の浜

(1) 軽費老人ホーム（ケアハウス） 定員40名

①概要

- ・新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが2類から5類に引き下げられ、行動制限等が緩和された為、それに伴い施設としてコロナ禍以前の生活水準に徐々に近づけるべく、令和6年4月より外出制限を解除した。但し何でも自由ではなく、外食を伴う外出は事前に申告してもらったり宿泊を伴う外出は相談をしてもらったりと、多少のルールは設けさせて頂き、安全で安心な施設運営を行う為に入居者にもご協力頂いた。
- ・近年の行動制限に伴い入居者の体力や運動能力の低下、コミュニケーション能力の減少が目立ちだした。但し世の中の同世代と比べれば十分な能力を有している。
- ・上半期に複数名新型コロナに罹患され、下半期は入居者・職員内でノロウイルスの感染が発生した。幸いどなた様も重症化せずに沈静したが、感染症の恐ろしさを再確認した一年であった。
- ・体調不良や感染症に感染していないかの確認の為に日々の検温や状態の聞き取りを行い、状態の変化を見落とさないような対応を心掛けている。
- ・コロナ禍で中止していた外出系の行事を感染症の流行具合を加味しつつ、外部者との接触が極力ない形で徐々に再開することが出来ており、かつ施設内の行事もコロナ禍前に近いレベルで運営出来つつある。ただし入居者の状態がコロナ禍以前より高齢化により低下し

ている為、長距離移動やたくさん歩くなどコロナ禍以前のような元気な方向けの内容の行事が行いにくい。

- ・外出制限を解除して一年が経ち徐々に外食希望は増えている。但し、ご家族が誘って下さり外食を行うケースが多く、ご入居者が希望して外出や外食を行うケースはほぼ無かった。高齢化や外へ出る意欲の低下等発生していると想定される。
- ・入居者の日々の状態確認や職員間での情報交換を行い、支援について共通意識を持って取り組んだ。またご家族のメンタルフォローや入居者の生活の様子の伝達などもしっかりと行わせていただいた。
- ・例年と比べ入院されるケースが多かった。内科的入院も外科的入院も相対的に増加し、その流れから退居される方も例年より多くなった。
- ・今年度だけで8名の方が退居された。近年で一番多くかつ待機者が少なかった事もあり、複数の月で空室を発生させてしまった。年度末に何とか満床に戻すことが出来たが、常に満床で運営していけるよう、待機者の確保をもっとしっかりしていかなければならない。
- ・天災（台風・大雨など）についてテレビやインターネットなどの情報を積極的に入手し有効活用することで、適切な対策を立てる事が出来た。

②入居者状況

(ア) 入退院状況

月	内科的入院	外科的入院
4月	○4/10 岸和田徳洲会病院入院～4/11 同病院退院。 鼠経ヘルニアの手術の為。	
5月	○5/3 阪南市民病院入院～5/4 同病院退院。膝の痛み・発熱やだるさ有、ぐったりしている為入院。5/4 発熱は続いているがぐったり感減少し退院。 ○5/8 白井病院入院～。上記症状と併せて認知機能の低下が著しく、精神科として入院の受け入れ可能との診断で入院。(→6月退去)	○5/24 葛城病院入院～同病院退院され高石の有料へ転居。前日夜、入浴中に浴室で転倒。すぐは動いていたが翌朝には動けず娘様に連れられ受診。レントゲンにて骨折は無いとの診断で一旦帰ってこられたが、動けない為娘様より入院要請していただき入院。後日MRIで骨折判明。(→8月退去)
6月	○6/10 市立貝塚病院入院～6/19 同病院退院。腹具合が悪く、便秘と下痢を繰り返していた為受診し、腸炎発覚。3～4日点滴・絶食の指示有入院。 ○6/24 東佐野病院入院～同病院より岸和田の有料へ転居。血便・食欲不振等訴えかかりつけ医受診し、東佐野病院に検査入院。(→9月退去)	○6/15 岸和田徳洲会病院入院～6/21 同病院退院。居室内で転倒、右脇腹付近に痛み有。葛城病院受診。外傷性肺気胸発覚し、葛城では処置し切れない為岸和田徳洲会病院受診し、入院。
7月	○7/7 岸和田徳洲会病院入院～7/18 同病院退院。心血管ステント術と心臓弁置換ステント術実施の為。	○7/27 岸和田徳洲会病院入院～8/23 同病院より岸和田リハビリテーション病院へ転院～11/13 同病院退院。居室で転倒。左大腿部に痛み有受診。レントゲンにて骨折判明し入院。
8月	○8/8 岸和田徳洲会病院入院～8/22 同病院より老健岸和田徳洲苑へ移動。当日朝から食事に降りてこられず、居室でも立てない、動けないような状態。発熱も有、コロナを疑うも陰性。原因がわからない為ご家族様と徳洲会受診し、尿路感染と判明、入院となる。(→R7.1月退去) ○8/13 葛城病院入院～9/19 同病院退院。入院の前	

	週あたりから発熱と下肢のだるさ有、白血球や血糖値の数値が問題で入院。最終的に腎盂腎炎だった。	
9月		○9/13 市立貝塚病院入院～10/21 同病院退院。9/6 早朝、単独で外出しおそらく転倒された。左上肢に痛み有、たなか整形にてレントゲンを実施し、左上腕骨頭部骨折の疑いで貝塚病院へ。3 か所骨折判明。三角巾とバンドで左上腕を固定されたまま帰ってこられたが、施設での生活に支障有、9/13 に入院。
10月		
11月		○11/1 市立貝塚病院入院～11/28 同病院より岸和田リハビリテーション病院へ転院。10/31 食堂で転倒。動いている為一晚様子を見たが痛み強くとなか整形にてレントゲン実施し骨折所見判明、市立貝塚病院を紹介され受診し、右大腿骨転子部の骨折判明、入院・手術となった。(→R7.2月退去)
12月	○12/3 岸和田徳洲会病院入院～12/4 同病院から東佐野病院に転院～R7.1/6 同病院退院。震えやしんどさ、顔色の悪さ有、発熱もある為訪問看護師より徳洲会受診の進言有家族と受診。尿路感染症や菌血症疑いで入院。点滴で状態安定した為東佐野病院に転院し加療。 ○12/4 市立貝塚病院入院～12/18 同病院退院。12/3 午後、歩行時の傾き、呂律が回っていない、脱力感等発生し夜診でかかりつけ医受診し、翌日市立貝塚病院受診を指示され帰宅。翌日受診し、心不全との診断で点滴治療をする方が治り早いとの話有入院。 12/20 りんくう総合医療センター入院～R7.1/10 同病院退院。朝食に降りてこられず訪問すると、フラフラしており居室内で転倒。呂律も回っておらず、更衣もうまく行えない状態で、明らかにおかしい為家族に連絡。2 日前まで市立貝塚病院に入院していた為、同病院を受診され、詳しく検査をすると脳梗塞が判明。市立貝塚病院では対応不可とのことでりんくう総合医療センターに搬送され入院。	
R7 1月		
2月	○2/1 河崎病院入院～。夕食を誤嚥し机で突っ伏しているのを発見し救急要請と応急処置を実施。元々片肺しか機能しておらず、誤嚥したものが機能している肺を閉塞させ、脳幹にダメージを負わせ意識戻らず。数日後にご逝去された。(→R7.2月退去)	○2/22 佐野記念病院入院～。早朝居室内で転倒し山口整形にて右大腿部骨折判明、佐野記念病院に入院し手術を実施も、高齢で元々位歩けるようには戻らない可能性が高いと医師より話があり、R7.4月に介護が手厚い施設に移られる方向となる
3月	○3/31 西出クリニック入院～現在入院中。食欲不振が以前からあり、かつ飲水・服薬の拒否、錯乱な	

	ど見受けられ高松内科受診。入院した方が良いとの話で西出クリニックで入院。	
--	--------------------------------------	--

(イ) 入退去状況

月	月初入居者数	退去者		入居者		月末入居者数
		人数	概要	人数	概要	
4月	40	1	○94歳女性 昨年12月に転倒され左足頸部骨折された。手術・リハビリを実施されたが、認知機能の低下が著しく、かつ骨密度の低さから歩行も厳しいと医師から宣告され、施設復帰は困難だとご家族が判断し退去となった。	1	○91歳男性 以前から敏庵をご利用頂いていた方で、貝塚市で独居生活を送られていたが、例年暑くなると体調を崩す傾向にあり、暑くなる前に施設入所を検討。入るなら行き慣れたふれあいのケアハウス入居を希望していただき、入居となった。	40
5月	40	0		0		40
6月	40	2	○93歳女性 今年1月に体調不良や低ナトリウム血症で岸和田市民病院受診し検査で心臓や腎機能の数値が悪く、心不全や低ナトリウム血症の治療の為入院。症状は改善したがリハビリが思うように進まず下肢筋力の低下があり、かつご家族が関東在住で、家族の近くに行かれる事が決まり退去となった。 ○89歳女性 5月初旬に原因不明の体調不良有、微熱が続く状態で、併せて認知の進行も著しく、白井病院に入院。ふれあいに戻る事が不可能ではないが、認知の進行から多大な迷惑を掛ける可能性があるのご家族が判断し退去となった。	2	○90歳女性 貝塚市で独居生活を送られていたが、今年1月に転倒、骨折し加療後自宅復帰は危ないと本人・家族共に判断され、入居となった。 ○82歳女性 貝塚市で独居生活を送られていた。歩行の不安定さからご家族が独居生活に不安を感じ、本人と共に当施設を見学。その際、本人は乗り気ではなかったが、その後生活されている借家が雨漏りで漏電しぼや騒ぎが発生、宿替えが必要とご本人も判断され入居となった。	40
7月	40	0		0		40
8月	40	1	○91歳女性 5月に居室で転倒され、入院。MRIにて骨折判明するも保存療法を選択。立位等で体重をかけると保存部がさらに骨折する可能性があり荷重をかけられず、リハビリが不可でADLの低下が懸念され、ご家族様が施設復帰は困難と判断、退去となった。	0		39
9月	39	1	○93歳女性 6月下旬、黒便・食欲不振等訴えかかりつけ医受診し、そのまま東佐野病	0		38

			院に検査入院。異常が無ければ早々に戻るとお聞きしていたが、本人より「もっと見守りがある施設でない」と不安」と話があり、退去となった。			
10月	38	0		1	○90歳男性 元々デイサービスを利用されている方で、貝塚市内で妻と二人暮らしをされていたが、生活における妻の負担が大きく、かつ転倒リスクが増えている点からご家族が施設入所を検討され、当施設に入居された。	39
11月	39	0		0		39
12月	39	0		0		39
R7 1月	39	1	○95歳女性 8月に発熱あり動きも悪く岸和田徳洲会病院にて尿路感染で入院。ADLの低下から老健へ移動されたが下肢の浮腫や心不全でリハビリが思うように進まず、12月に心筋梗塞でお亡くなりになられた。	1	○93歳女性 元々デイサービスを利用されていた方で、貝塚市内で3男と同居されていた。R6年7月に転倒され入院手術実施。老健に移動後リハビリを頑張ったが自宅への復帰は危険が伴うとの判断で、施設入所するなら知っている職員がいる当方に入れてあげたいとご家族が考え、入居契約を交わした。	39
2月	39	2	○84歳男性 10月末に転倒し大腿骨骨折。貝塚病院に入院、手術実施。岸和田リハビリテーション病院へ転院しリハビリを頑張るとのことだったが拒否が強くケアハウスに戻れるADLに回復することは困難と家族が判断し退居となった。 ○92歳男性 12月に心不全と脳幹梗塞で入退院を繰り返していて、2月に誤嚥で河崎病院へ救急搬送。元々の入院で脳幹にダメージがあったが今回の誤嚥による閉塞でさらにダメージを負い、数日後にお亡くなりになった。	1	○84歳女性 岡山県倉敷市で夫と二人で暮らしていたが、息子が岸和田市在住で何かあった時に遠いという点から息子宅から近い施設に入る事を提案され、ご本人もその気になり当施設にご入居となった。	38
3月	38	0		2	○85歳男性 岡山県倉敷市で妻と2人で暮らしていたが、息子が岸和田市在住で何かあった時に遠いという点から息子宅から近い施設に入る事を提案され、妻がその気になり、本人は乗り気でないが単身岡山で暮らすのは無理なので当施設に入居となった。	40

										○81歳女性 和泉市の長女宅で長女夫妻と生活されていたが、被害的意識が強いことに娘が疲弊し、今後の為に離れて暮らす方が良いと施設入所を検討。本人は乗り気でなかったが当施設を見学し気に入られたようで、最終的に本人が「行きたい」と押し切り当施設に入居となった。
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(ウ) 入居者の年齢別状況

	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	合計	平均 年齢
女性				1	9	3	14	4	31	89.1
男性				2	2	2	2	1	9	86.4
総数				3	11	5	16	5	40	88.5
前年度				3	9	7	17	4	40	88.3

※男性最高齢:97歳、男性最年少:77歳 女性最高齢:98歳、女性最年少:77歳

(R7.3月末)

(エ) 入居者の介護度及びサービス利用状況

介護度		要支援		要介護					事業対象者
		1	2	1	2	3	4	5	
人数		1	4	10	10	7	3	0	2
利用サービス	通所介護	0	2	9	8	6	0	0	2
	訪問介護	0	2	7	7	5	0	0	1
	福祉用具	0	2	4	8	7	3	0	0
	訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0
	小規模多機能型 居宅介護	0	0	0	2	1	3	0	0

(オ) 入居者の入居前の居住地域

地域	男性	女性	合計
貝塚市内	7	23	30
泉州圏(高石市～岬町まで)	0	5	5
大阪府内で泉州圏以外	1	1	2
大阪府外	1	2	3

(カ) 入居の平均期間

性別	平均入居期間	最長入居期間
----	--------	--------

男性	5年8か月	15年2か月
女性	6年4か月	24年6か月
施設全体	6年3か月	24年6か月

(キ) 主な行事

4月	お花見
5月	春のお食事ツアー（夢一喜）、菖蒲湯
6月	二色の浜バーベキュー
7月	七夕 食事会(銀の卵) 消防訓練
8月	(※コロナ蔓延の為、行事を延期・中止とした。)
9月	敬老の日(豪華食事) 西幼稚園交流会 納涼ゲーム大会 お出かけドライブ
10月	ふれあい運動会
11月	菊花展、創立記念式典
12月	日帰り旅行 犬鳴山み奈美亭、クリスマス会、お餅つき
1月	初詣、新春お楽しみ会、消防訓練
2月	節分行事 バレンタインデー 食事会(銀の卵)
3月	桃の節句 ボウリング大会

※特記事項…○貝塚市民図書館・移動図書館ひまわり号、概ね月1回来訪。

*その他：毎月誕生日会・お元気教室・ショッピング

レクの日…毎月1回実施。内容は毎回違う事を実施

・頭を使ったゲーム・お散歩・もの作り・おやつ作り・頭の体操等

③新型コロナウイルス等感染症への対応について

入居者の各ワクチン接種状況

新型コロナウイルスワクチン

11月28日(木)施設内集会室にて、高松 Dr.が37名に実施。

1室が空室、1名が入院中、1名、11月28日が徳洲会定期受診日なので11月26日の高松内科受診時に先に実施。

(2) デイサービスセンター(定員65名) 通所介護サービスA 10名 介護給付 55名

①概要

1) 利用者一人ひとりにあったサービス提供及び満足度の向上

・前期は毎月約4～6名の新規利用者があり、前年度に比べ若干利用者数及び延べ人数が増加していたが、後期は新規利用者数が伸びず、また施設入所や長期入院などで利用日数が多い方

が利用中止になり延べ人数及び実人数共に前年度に比べ減少している。

- ・利用者の平均介護度や平均年齢に大きな変化はないが、認知機能の低下が進行されている方が多く、レクレーションや行事のルール説明時や実施内容などの工夫などを行った。
さらに、利用者により認知機能や身体機能に差異があるため、ゲーム内容等を難易度別に 2 パターン用意し、どの利用者にも楽しんで参加していただけるように工夫をしている。
- ・令和 6 年 8 月 31 日に台風のため、令和 7 年 3 月 5 日～3 月 8 日までノロウイルス感染症のため臨時休業を行い、例年に比べ営業日数が減少した。
- ・新型コロナの状況を確認しながら、集団での行事やカラオケなどを再開し、行事やカラオケ等で声を出す機会が増えたことやチーム対戦ゲームを取り入れることで活気が増えた。
- ・在宅酸素療法や膀胱留置カテーテル挿入など医療的な処置をされている利用者が増えたが、訪問看護ステーション（他事業所）との連絡を密にするなど連携を図っている。
- ・急な血圧低下や来所時の発熱などの体調不良の利用者がおられたが、看護師を中心に対応を行うことで状態の悪化等には至っていない。また、転倒による骨折等の事故の発生はなかった。ヒヤリハット事例を元に対策・改善策の検討や緊急時の対応方法など職員全員が把握できるようにミーティング等の機会に共有している。

2) 職員の意欲・モチベーションの向上を図り、職員の定着及びサービスの質の向上を目指す。

- ・介護職員は、常勤職員が 4 名、非常勤職員が 3 名入社し、常勤職員 1 名、非常勤職員 3 名が継続して勤務している。前職も介護職員でデイサービスの経験もあったことからスムーズに業務を行うことができていると思われる。また、長く勤めていた非常勤職員 2 名が出産のため、年齢的に介護の仕事の負担が大きくなったため退職となった。
看護職員は、非常勤職員 3 名が入社しうち 1 名が現在も継続して勤務している。
長く勤めていた職員を含め、5 名が退職となった。非常勤看護師は、各々週 1～4 日の勤務であるが、採用をし入社しても定着が難しい状況が続いている
- ・職員の経験や個性（得意な事）を活かし、業務分担や役割分担を行い、新たな取り組みやメニューの提案を検討し実施した。実施にあたり、特定の職員に負担が偏らないように、分担や準備時間の調整を行った。

3) 感染症の予防とまん延防止について

- ・感染予防マニュアル・感染症発生時の業務継続計画に沿って、感染症予防を継続している。
- ・職員・利用者には新型コロナウイルス感染症及びノロウイルスによる感染性胃腸炎に罹患された方がおられたが、センター内での感染拡大はなかった。また、重症化された方はおられなかった。
- ・ノロウイルスによる感染性胃腸炎発生時には、感染拡大防止及び厨房での調理が出来ないため 4 日間の臨時休業を行ったが、利用者及びご家族、ケアマネジャーの理解や協力があり混乱やトラブルはなかった。また、ご家族に胃腸炎を発症されている方もおられたが、感染予防等に対して、高齢者福祉に携わる者と一般社会との感じ方や捉え方に差異を感じた。

②利用者状況

(単位：名)

	事業対象者 要支援 1・2		要介護		総合計		1日 平均	前年度 総合計		
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数		延人数	実人数	1日平均
R6/4	66	12	1095	106	1161	118	44.6	1139	119	43.8

R6/5	83	15	1129	102	1212	117	44.8	1248	120	48.0
R6/6	72	15	1061	106	1133	121	43.5	1230	125	47.3
R6/7	76	15	1148	108	1224	123	45.3	1149	123	44.1
R6/8	61	13	1021	106	1082	119	41.6	1162	120	43.0
R6/9	67	13	1056	110	1123	123	43.1	1131	118	43.5
R6/10	70	14	1165	110	1235	124	45.7	1210	121	44.8
R6/11	57	13	1142	109	1199	122	46.1	1250	123	48.0
R6/12	65	14	1030	109	1095	123	45.6	1168	124	48.6
R7/1	66	15	974	106	1040	121	43.3	1072	120	46.6
R7/2	70	15	967	110	1037	125	43.2	1143	120	45.7
R7/3	63	15	862	108	925	123	42.0	1199	120	46.1
合計	816	169	12650	1290	13466	1459	44.0	14101	1453	45.7

*年間 平均介護度：要介護 2.0 平均年齢：86.1 歳（前年度 平均介護度：1.7 平均年齢：85.6 歳）
平均介護度は要支援以下を 0.375 と計算しています。

③主な行事

4 月	・春の桜ゲーム ・おやつ作り（ロールフルーツサンド・桜餅風どら焼き）
5 月	・しょうぶ湯 ・こいのぼりゲーム ・おやつ作り（あんバナ巻き巻き・フレンチトースト）
6 月	・すごろくゲーム ・物作り（壁掛け風金魚鉢） ・おやつ作り（クレープ・屋台風たこせん）
7 月	・七夕会（笹飾り・七夕ゲーム） ・海の日ゲーム ・消防訓練・避難訓練（ケアハウス合同） ・西幼稚園園児より壁飾りのプレゼントいただく
8 月	・夏祭り
9 月	・敬老の日お楽しみ会及び行事食（プレゼント配布） ・ハロウィン物づくり（ハロウィンリース） ・西幼稚園交流会
10 月	・ふれあい運動会 ・おやつ作り（かぼちゃのお焼き）
11 月	・ボウリング大会 ・クリスマス物づくり（クリスマス BOX） ・貝塚市社協ボランティア連絡会（アコーディオン演奏会）
12 月	・ゆず湯 ・クリスマス会
R7 1 月	・新春お楽しみ会（利用者カラオケ大会） ・おやつ作り（たこ焼き） ・消防訓練・避難訓練（ケアハウス合同）
2 月	・節分鬼退治 ・バレンタインデーおやつ作り
3 月	・ひな祭りゲーム ・春のお楽しみゲーム

*その他：毎月 誕生日会・書道・移動図書館ひまわり号等

(3) デイサービスセンター敏庵

(定員 32 名) 通所型サービス A 12 名 介護給付 20 名、1 日 2 単位 (午前・午後)

①概要

1) 利用者数の拡大及び満足度の向上を図る

- ・新規利用者の問い合わせや体験利用が増え、延べ人数、実人数共に緩やかに増加傾向にある。
- ・利用者層としては、要支援の利用者が要介護の利用者の約 1.5 倍となっている。利用回数は、週 1~2 回の方が多く、お盆・彼岸や祝日などはキャンセルされる方が多い。
- ・上記のように、お盆などにはキャンセルが多く利用者数が激減する。そのため、8 月 14 日~15 日を夏季休業とした。利用者及びご家族から不満の声などもなかった。
- ・軽介護度者の方が多い中、認知機能の低下のため物忘れが目立つ方や感情のコントロールが行いにくい方もおられるが、職員の対応によりトラブルなく他の利用者の方とも円滑に交流を行うことが出来ている。また、全盲の方、最重度の聴力障害の方や難病の方などもおられ、様々な疾患や状態の方にも対応できるように情報収集・情報共有を行い、どのような状態であっても安心して利用して頂けるように心がけている。
- ・デイサービスセンター敏庵の利用者が、状態の変化により入浴介助の必要性や長時間利用の必要性が出現し、老人デイサービスセンターふれあい二色の浜の利用を開始する方が増えている。その場合にも、混乱なく安心して利用ができるように職員同士の連携や利用者・ご家族への声掛けなど行っている。
- ・毎月の計画的なレクリエーションを継続することが出来なかったが、毎日、短時間であるが季節のお話、時事ネタ、頭の体操などの時間を持つ工夫をし楽しんでいただいております、利用者が発言する機会や利用者同士の話も盛んになり交流の場となっている。また季節を感じる行事が実施できない場合も、飾りつけや日々のレクリエーションの会話の中で感じてもらえるように工夫している。
- ・その日の状態や体調に合わせて、運動メニューなどの変更を行い運動による症状・体調の悪化や本人の負担にならないように注意している。
- ・職員の動きについて
職員 1 名 (柔道整復師) が 7 月 3 日に一身上の都合により急遽退職
職員 1 名 (柔道整復師) が 7 月 21 日~産休・育休の取得を行った
上記のことから職員の募集を行い常勤職員 1 名 (柔道整復師)、非常勤職員 1 名 (看護師)、アルバイト 1 名 (介護職員) を雇用。アルバイトを除く 2 名が現在も継続して勤務している。
- ・ウォーターベッドをもっと使用したいという、利用者からの希望の声が多いこと。マッサージや手技での機能訓練など多くなっているなか、柔道整復師 1 名が産休・育休の取得し、対応する柔道整復師の負担が大きくなりサービスの低下が予想され、サービスの低下の防止を検討。前記より、ウォーターベッド (管理医療機器) の追加購入を行った。管理医療機器で、従来のものより柔軟性改善のための手技を再現したもの (メディカルモード付) で、利用者からの評判も高い。

2) 感染症の予防とまん延について

- ・感染予防マニュアル・感染症発生時の業務継続計画に沿って、感染症予防を継続している。
- ・新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、ノロウイルスによる感染性胃腸炎などの感染者の発生はなし。

②利用者状況

(単位：名)

	事業対象者 要支援1・2		要介護		総合計		1日 平均	前年度 総合計		
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数		延人数	実人数	1日平均
R6/4	376	72	235	39	611	111	27.7	515	101	25.7
R6/5	410	73	256	42	666	115	28.9	569	101	25.8
R6/6	324	75	206	42	530	117	25.2	543	100	24.6
R6/7	364	69	258	43	622	112	27.0	554	105	26.3
R6/8	304	66	220	43	524	109	26.2	538	108	23.3
R6/9	328	68	254	45	582	113	26.4	563	109	26.8
R6/10	371	67	290	46	661	113	28.7	597	108	27.1
R6/11	316	66	267	47	583	113	27.7	586	109	25.4
R6/12	317	63	241	46	558	109	27.9	566	111	28.3
R7/1	321	63	231	47	552	110	27.6	542	112	27.1
R7/2	314	66	246	46	560	112	28.0	590	108	28.1
R7/3	318	64	253	49	571	113	27.1	579	107	27.5
合計	4063	812	2957	535	7020	1347	27.3	6742	1279	26.3

*年間 平均介護度：要介護 1.0 平均年齢：84.7 歳（前年度 平均介護度：0.9 平均年齢：84.4 歳）
平均介護度は要支援以下を 0.375 と計算しています。

③主な行事

5月	・藤棚作り
7月	・七夕笹飾り・七夕レク ・消防訓練・避難訓練（ケアハウス合同） ・西幼稚園園児より壁飾りのプレゼントいただく
9月	・敬老の日プレゼント配布 ・ハロウィン壁面飾り作り
12月	・クリスマス飾り作り ・クリスマス抽選会
R7 1月	・消防訓練・避難訓練（ケアハウス合同）
3月	・春のお楽しみレク

*その他：毎月 誕生日会・移動図書館ひまわり号等

(4) ヘルパーステーション

①概要

1) 利用者一人ひとりに対して、状況・状態に適したサービスを行う

- ・利用者について、訪問回数の多かった利用者の終了もあり前年度に比べやや減少気味ではあるが、新規利用者のサービス依頼を積極的に受けることが出来ている。また、後期には1日複数回訪問する利用者のサービス依頼をうけた。状態や状況に応じてケアマネジャーと相談のうえ臨時的なサービス提供もおこなった。
- ・急な状態の悪化やご自身で動けない方のサービス依頼が多く、サービス内容や状態の変化への対応などケアマネジャーと連携をとりながら工夫して行っている。また、訪問看護師やデイサービスとの連携など他事業所との連携も図っている。

2) 感染症の予防とまん延防止について

- ・感染予防マニュアル・感染症発生時の業務継続計画に沿って、感染症予防を継続している。
- ・訪問時に利用者・家族のマスクの着用や換気なども定着している。
- ・新型コロナウイルス感染症に罹患した利用者への訪問サービスに対しても、マスク、手袋、ガウンやシューズカバーを着用の上サービスを継続した。職員への感染や他の方への感染拡大などなかった。

②利用者状況

(単位：名)

	事業対象者 要支援1・2		要介護		総合計		1日 平均	前年度 総合計		
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数		延人数	実人数	1日平均
R6.4	0	0	349	35	349	35	13.4	351	35	14.0
R6.5	0	0	359	34	359	34	13.3	388	36	14.3
R6.6	0	0	314	31	314	31	12.0	400	37	15.3
R6.7	0	0	345	32	345	32	12.7	382	38	14.6
R6.8	0	0	332	32	332	32	12.3	409	38	15.1
R6.9	0	0	297	32	297	32	11.4	360	37	13.8
R6.10	0	0	378	33	378	33	14.0	387	39	14.8
R6.11	0	0	376	34	376	34	14.4	382	39	14.6
R6.12	0	0	358	33	358	33	14.9	358	37	14.3
R7.1	0	0	351	33	351	33	14.6	318	34	13.2
R7.2	0	0	345	34	345	34	14.3	351	35	14.0
R7.3	0	0	363	33	363	33	13.9	339	36	13.0
合計	0	0	4167	396	4167	396	13.4	4425	441	14.2

*年間 平均介護度：要介護 2.22 平均年齢：86.0 歳（前年度 平均介護度：2.03 平均年齢：85.8 歳）
平均介護度は要支援以下を 0.375 と計算しています。

(5) ケアプランセンター

①概要

1) 各職員の対応技術・面接技術の向上を図り、適切なケアプラン・相談業務を行う。

- ・4月にケアマネジャーが1名増員になり、徐々に利用者数が増加している。
入社したケアマネジャーは継続して勤務する意思を示している。
- ・4月の介護保険改正で、居宅介護支援費の減算対象の算定要件として、ケアマネジャー1名あたり40件以上から45件以上に変更となった。さらに、介護予防支援の件数の数え方が、利用者2人で1件から3人で1件に変更になった。
- ・包括支援センターからの、困難ケースの依頼を受けることが多く、利用者自身の課題だけでなく家族の抱える課題など多種多様な問題を重複的に抱えているケースも多い。
- ・週1回の職員会議を通じて、社会資源の共有や個々のケースの事例検討、対応技術、対応力の向上を図っている。
- ・ケアマネ本意のケアプランにならないよう、基本に立ち返り、利用者・ご家族に寄り添い利用者・ご家族の立場にたった見方を心掛けている。
- ・他のケアプランセンターとの情報交換や事例検討会など年2回行っており、事例の提供や検討会の参画など中心的な役割を担うこともある。

- ・ 8月に貝塚市健康福祉部より、避難行動要支援制度にかかる個別避難計画の作成の依頼があり。9月に貝塚市の様式にそって利用者及び家族に聞き取りをしながら作成し提出した。事業所内で全3件の依頼あり。1件7,000円の報償費支給あり。
- ・ 各包括支援センターの委託を受け予防介護支援及び介護支援サービスAの計画作成の担当を行っているが、最近では新たに岸和田市の委託を受けた。

2) 感染症の予防とまん延防止について

- ・ 感染予防マニュアル、感染症発生時の業務継続計画に沿って、感染症予防を継続している。
- ・ 利用者が新型コロナに感染され自宅療養や入院治療をされた方がおられたが、ご家族の協力等で大きなサービス変更や混乱はなく過ごすことができ、元気に回復されている。
- ・ 訪問時の利用者やご家族のマスク着用等、利用者・家族にも感染症予防が定着している。

②利用者の状況

- ・ 令和6年4月にケアマネジャー1名入社。4名→5名となる。

- ・ ケアマネ 45件の上限ありそれを超えると減算あり

ケアマネジャー5名で220件を超えると減算対象となる

(R6年4月～改定で45件以上が減算対象と変更。以前は40件以上は減算対象)

*事業対象者・要支援1・2の利用者は、包括支援センターからの受託プランである。
 *事業対象者・要支援1・2の利用者2名で1件と計算する。(介護予防支援のみ)
 *介護予防ケアマネジメントAは件数に含まない。

	要支援				介護	合計 (実人数)	合計 予防支 援件数 +介護	ケアマネ 一人 実人数	ケアマネ 一人 件数	前年度	
	実人数	A型	支援	支援 件数						ケアマネ 一人 実人数	ケアマネ 一人 件数
R6.4	27	13	14	4.7	138	165	142.7	33.0	28.5	42.0	36.0
R6.5	29	14	15	5.0	142	171	147.0	34.2	29.4	42.0	36.3
R6.6	32	14	18	6.0	142	174	148.0	34.8	29.6	41.7	36.5
R6.7	31	14	17	5.7	146	177	151.7	35.4	30.3	42.0	37.1
R6.8	32	14	18	6.0	145	177	151.0	35.4	30.2	41.3	36.6
R6.9	32	12	19	6.3	146	178	152.3	35.8	30.5	41.2	36.2
R6.10	31	12	19	6.3	146	177	152.3	35.4	30.5	41.7	36.6
R6.11	32	13	19	6.3	150	182	156.3	36.4	31.3	42.5	37.3
R6.12	33	14	19	6.3	147	180	153.3	36.0	30.7	42.2	37.3
R7.1	32	12	20	6.7	147	179	153.7	35.8	30.7	41.0	36.3
R7.2	33	13	21	7.0	150	183	157.0	36.6	31.4	41.2	36.6
R7.3	32	10	22	7.3	154	186	161.3	37.2	32.3	41.5	36.3
	376	155	221	73.7	1753	2129	1826.6	35.5	30.4	41.6	36.5

*年間 平均介護度：要介護 1.87 平均年齢：83.9.0歳（前年度 平均介護度：1.8 平均年齢：83.6歳）
 平均介護度は要支援以下を0.375と計算しています。

(6) 包括支援センター

①概要

1) 適切な運営体制の強化を図る。

- ・総合相談支援業務については、権利擁護相談及び虐待関係相談が増加している。
- ・権利擁護相談では、成年後見制度の利用の検討が多く、関わりが長期になる場合が多い。また、身寄りのない方への対応や関係機関との連携など、どのように行っていくか、検討していく必要があると考える。
- ・虐待関係相談では、ケアマネジャーからの通報や警察からの通報が増加。市担当者（高齢介護課）の判断により、実態把握やその後の対応について市担当者と協議し対応する場面が増えている。
- ・前年度から引き続き、拡大ケース会議や各種定期的な会議などへの参加を継続している。また、貝塚市内のケアマネジャーの集まりへの参加や研修の参画などを行っている。
- ・地域の健康教室については、例年依頼のある地域での依頼あり。新規の教室依頼は減少している。
- ・介護保険制度にとどまらず、保険医療や障害福祉、貝塚市社会福祉協議会と連携するケースが増えており、関係を深めている。
- ・保険者が起案する新たな事業等への参加や困難ケースでのケアマネジャーと共に関わりを持ち続けるケースが多く、包括的支援事業（相談件数）で人数は前年度に比べ減少しているが、深い関わりを求められるケースが多いなど業務量が増加している。

2) 感染症の予防とまん延防止について

- ・感染予防マニュアル、感染症発生時の業務継続計画に沿って、感染症予防を継続している。
- ・訪問時の利用者やご家族のマスク着用等をお願いしている。

②連携会議等の出席状況

毎月	貝塚市 3 包括連絡会
随時	ケース検討会議
	貝塚市生活支援・介護予防協議会
2 ヶ月に 1 度	つげさん在宅ネット（在宅医療介護連携推進懇話会）

③包括的支援事業（相談件数）

* 実人数については、毎月更新

（単位：名）

	実人数	新規	延べ件数	前年度		
				実人数	新規	延べ件数
R6.4	47	14	131	57	10	151
R6.5	52	20	124	41	12	107
R6.6	36	8	93	66	27	142
R6.7	56	19	141	54	16	129
R6.8	43	10	100	63	12	163
R6.9	50	12	108	50	9	117
R6.10	47	10	150	58	10	148
R6.11	36	9	107	46	10	110
R6.12	33	7	74	44	13	120

R7.1	37	7	88	40	13	107
R7.2	37	12	114	45	16	159
R7.3	42	14	114	49	11	120
合計	516	142	1344	613	159	1573

④ 地域推進のための活動

拡大地域ケア会議 21 地域（2 か月に 1 度程度）

		前年度
R6.4	9 回	9 回
R6.5	9 回	10 回
R6.6	9 回	8 回
R6.7	8 回	11 回
R6.8	8 回	8 回
R6.9	11 回	9 回
R6.10	9 回	10 回
R6.11	9 回	9 回
R6.12	11 回	10 回
R7.1	9 回	7 回
R7.2	9 回	11 回
R7.3	11 回	11 回
合計	112 回	113 回

開催地区（前年度から変化なし）
旭町、海塚、浦田、戎前、大北町
澤町、新町、津田北、津田南、
中町、西町、南町、畠中、加神
堀新、堀之町、ロコモ、脇浜
脇浜西、脇浜南、二色校区合同

⑤ 地域密着型運営推進会議の出席状況

2 か月に 1 回開催予定	まんじゅ貝塚（グループホーム） ニチイケアセンター（グループホーム） エルケアローズガーデン貝塚（小規模多機能） 地域密着型特別養護老人ホーム水間ヶ丘（特別養護老人ホーム） ふれあい二色の浜（小規模多機能）
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

⑥ 介護予防教室

認知症サポーター養成講座	5 回	貝塚高校、中央小学校、市民向け
介護予防普及啓発教室（単発教室）	15 回	沢、畠中町、旭住宅、南町、戎前町 中央公民館、浜手公民館 二色の浜荘園等

⑦ 居宅介護支援事業

利用者状況

（単位：名）

	総数	内訳		前年度		
		包括担当	他センター	総数	内訳	
					包括担当	他センター

			への委託			への委託
R6.4	320	46	274	304	49	255
R6.5	332	49	283	313	53	260
R6.6	329	48	281	302	48	254
R6.7	317	45	272	309	51	258
R6.8	314	44	270	315	48	267
R6.9	322	48	274	326	48	278
R6.10	319	45	274	322	47	275
R6.11	319	44	275	325	47	278
R6.12	326	45	281	316	45	271
R7.1	316	41	275	318	50	268
R7.2	324	41	283	314	47	267
R7.3	324	44	280	316	45	271
合計	3862	540	3322	3780	578	3202

(7) 小規模多機能型居宅介護 登録定員 29 名

①概要

1) 利用者の心身の特性に踏まえて、利用者が可能な限り住み慣れた居宅において自立した日常生活を営むことができるよう援助を行う。

- ・入院・入所等で利用者数の減少があったが、ケアマネジャーや地域包括支援センターから、紹介いただいた新規利用者のサービスを開始できた。
- ・4月以降、前期に3名の利用の終了者があり、入院のため、在宅サービスに移行のため、特別養護老人ホームに入所のためなどが理由となっている。なお、新規登録者4名である。
- ・ターミナルの方や身体機能・認知機能の低下が著しい方など様々な状態の方がおられ、通所及び訪問回数が増加している。また、それぞれの方への対応に対して、その方の思いや今までの生活を受け入れ寄り添うことを第一とし、尊重することで利用開始から早い段階で信頼関係を築くことが出来ていると思われる。
- ・ターミナルの方のケースを通じ、医療関係者（医師や訪問看護師）との連携などを深めることができた。
- ・以前からの関わりのあった近隣の方や地域の民生委員等との交流の継続や、西幼稚園の園児さんの来訪、ボランティア来訪等で交流をもつことができた。今後も地域の方との交流など継続できるように働きかけを行いたい。
- ・通所サービス・訪問サービスを組み合わせてサービス予定を行っているが、痛みの出現など症状に合わせ、訪問回数の増加や緊急対応で病院受診の付き添いなど柔軟に対応し、本人の望む在宅生活を維持することができている。ただし、「さみしい」「一人が不安」などの精神面の安心には十分に不安を解消することが出来ず、難しい部分である。そのようなケースでも、寄り添いを続けることで、訪問サービス中心から通所サービスの利用も行えるようになり表情が柔らかくなった方もおられる。
- ・個々の生活歴や生活環境、ご本人・ご家族の思いに寄り添い支援・援助することで信頼関係を築き、スムーズにサービスを受け入れてもらうことが出来た。
- ・各々の利用者の状態の変化やサービス提供時の気づきを伝達・相談し、援助目標や援助内容

の変化を夕礼や会議などの場を活用し共有することでサービスの質の向上を目指している。

- ・法令等、ケアプラン作成、疑問点や不明点については早急に解決するため保険者等への問い合わせなど知識や情報の習得に励んでいる。

2) 感染症の予防とまん延防止について

- ・感染予防マニュアル・感染症発生時の業務継続に沿って、感染症予防を継続している。
- ・登録利用者においても全員が新型コロナウイルスワクチン接種を行っており、追加接種のための受診の援助を随時行っている。また、インフルエンザワクチンなど季節性の予防接種の受診援助も行っている。
- ・6～8月にかけて、利用者が毎月1名ずつ新型コロナウイルスに罹患された。食事介助や排泄介助が必要な方で、ガウン・マスク・フェイスシールド・手袋などで感染対策を行い、訪問サービスを継続した。利用者の重症化、職員への感染はなかった。その他感染拡大なかった。
- ・3月上旬に、利用者2名（ケアハウス入居者）がノロウイルスによる感染性胃腸炎に罹患し下痢・嘔吐を発症した。排泄介助や食事介助などを行う必要ありガウン・マスク・シューズカバーなどを装着し、自室に訪問しサービスを行った。職員への感染なし。その他感染拡大はなし。
- ・利用者及び職員の新インフルエンザの感染はなかった。

②利用者状況

(単位：名)

	事業対象者 要支援1・2		要介護		総合計		前年度総合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
R6.4	14	1	434	8	448	9	398	9
R6.5	14	1	482	8	496	9	362	9
R6.6	14	1	426	7	440	8	329	8
R6.7	14	1	480	8	494	9	454	9
R6.8	12	1	483	9	495	10	423	8
R6.9	1	1	550	9	563	10	352	8
R6.10	35	2	624	9	659	11	432	8
R6.11	30	2	597	9	627	11	357	8
R6.12	37	2	598	9	635	11	433	8
R7.1	38	2	586	9	624	11	397	7
R7.2	38	2	545	9	583	11	326	7
R7.3	40	2	604	9	644	11	389	8
合計	299	18	6409	103	6708	121	4652	97

*年間 平均介護度：要介護 2.39 平均年齢：89.4歳（前年度 平均介護度：2.4 平均年齢：88.4歳）
平均介護度は要支援以下を0.375と計算しています。

	訪問回数		通所回数		宿泊回数	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
R6.4	284	8	160	8	4	1
R6.5	325	8	165	9	6	2

R6.6	295	8	145	8	0	0
R6.7	338	8	154	9	0	0
R6.8	342	9	153	10	0	0
R6.9	392	9	171	10	0	0
R6.10	461	10	198	11	0	0
R6.11	439	10	188	11	0	0
R6.12	455	10	180	11	0	0
R7.1	451	10	171	11	2	1
R7.2	410	10	173	11	0	0
R7.3	476	10	166	11	2	1
合計	4668	110	2024	120	14	5
前年度合計	2862	84	1766	97	24	12